

# 好きです，核医学。 ： We love Nuclear Medicine.

外山 宏

Toyama Hiroshi

(藤田医科大学 医学部 放射線医学教室 主任教授)



この度，第 61 回日本核医学会学術総会の会長を拝命し，第 41 回日本核医学技術学会総会学術大会（藤田医科大学病院放射線部主任 石黒雅伸大会長）と合同で，2021 年 11 月 4 日（木）～6 日（土），名古屋国際会議場で開催します。昨今のコロナ禍は多くの学術大会に大きな影響を及ぼしております。日本国内でもワクチン接種が進んでおりますが，従来どおりの開催は難しいと考え，会場及び Web 配信によるハイブリッド形式の開催を考えております。国内の移動，海外からの来日等，今後の感染状況を見ながら柔軟に対応し，皆様にご満足いただける学会にしたいと思っております。大変な状況の中で 200 以上一般演題をご応募いただき，感謝いたします。ぜひ名古屋の会場でご発表いただきたいと思っておりますが，会場に来られない場合は，前年度の神戸大会で千田道雄先生が開発されました方式で，あらかじめ MP4 動画ファイルを作成，お送りいただき，Zoom を使ってリアルタイムで質疑応答する“神戸方式”で行いたいと思っております。東アジア核医学会，アジア・オセアニア核医学会との共催として，Asian Cardiology Session（9 演題），Asian International Session（16 演題）を開催します。海外から 11 人の招待講演及びシンポジストを予定しています。来日されない先生は神戸方式でお願いする予定です。海外から無理なくご発表いただけるように，時差を考慮してセッションを予定しました。国内大学・医療機関コンソーシアムとして，IAEA ワークショップもオンラインで併催します。アジア・中東の 28 か国の先生方に心臓核医学の教育講演を名古屋の会場から Zoom でライブ発信します。

大会のテーマは，“好きです，核医学。： We love Nuclear Medicine.” としました。皆様が核医学をますます好きになっていただけるような企画を考えました。特別企画“レジェンドに学ぶ”は，核医学が他のモダリティと異なる特徴があり，いかにすばらしく楽しいかを再認識するために，筆者が核医学を志した頃にご活躍され，ご薫陶いただいた 10 人の先生方にレクチャーをお願いしました。日本アイソトープ協会役員の久保敦司先生，遠藤啓吾先生にもご快諾いただき，大変感謝しております。皆様に“昭和の核医学”のすばらしさを味わっていただきたいと思っております。いろいろな領域の専門家に魅力的なシンポジウムを企画していただきました。教育講演，症例検討会，学生・研修医対象のセミナーも行います。併催分科会の研究会，井上登美夫先生，畑澤 順先生にご指名いただき，筆者が日本核医学会の代表として継続してまいりました日中核医学交流セミナーも開催します。特別講演は，最終日のイベントとして日本ラグビー協会副会長 清宮克幸さんをお願いしました。市民公開講座では絹谷清剛理事長（大学時代ラグビー部）にもご登壇いただき，2022 年に迫りました世界核医学会のプロモーションも行う予定です。できるだけ多くのセッションをご視聴いただき，また，会場に来られない皆様にもご視聴いただくために，シンポジウム，教育講演等指定演題は，学会終了後にオンデマンド配信する予定です。杏林大学 須山淳平先生がバンドマスターとして，ジャズビックバンド（JSNM All Stars）を結成していただきました。すばらしい演奏を楽しみにしていただければと思います。また，甘党の方のためにスイーツセミナーでは名古屋の洋菓子，和菓子をご用意します。

これらの企画が無駄にならないように，多くの皆様に名古屋の街と味を堪能していただき，楽しく勉強していただけるような会になるよう祈念しております。